

1. 保育計画

保育士一人一人が、トキワ保育園の保育理念・保育方針を理解している。	A
保育計画を作成する際、職員間で話し合いの場もたれている。	A
保育計画は、トキワ保育園の保育理念・保育方針を十分に理解した上で作成されている。	A

年間計画においては、3月中にクラス会議を行い、各月の計画は子どもたちの様子など日々話しながら進めている。

2. 子どもへの関わり

運動を通して、基本的な体力や気力を身につけられるよう工夫されている。	B
子ども達一人一人の性格を十分に把握し、集団への参加を援助している。	A
子ども達一人一人の発達段階を理解し、無理のない余裕を持った保育環境を創造し、個人の自覚を促すよう配慮されている。	B
日常生活上必要な「思いやりの心・気持ち」を育て、保育士一人一人が美しい日本語を使用し、「優しさ・温かさ・いたわりの心」を意識し保育にのぞんでいる。	A
子ども達一人一人の思いを受け止め、安心できる環境作りに配慮し、信頼関係を築くように努力している。	A
一人一人の発達の状況や、課題点などを会議等で全職員で共有し、意見を出し合い改善していけるように努めている。	B
保育士一人一人が全児童への平等な関わりが出来ている。	A
日々の保育の振り返りを次に繋げていけるように努めている。	A

発達段階への理解は簡単にAはつけられない。年々難しさを増している。
理解しているつもりでも保護者のとらえ方に寄り添うことや、対応の違いもあり、要検討事項である。

3. 食事

子どもの意思を尊重し、食事の援助が出来ている。	A
食育の重要性を理解し、食べることの楽しさを子ども達と共有出来るよう工夫している。	A
子ども達一人一人のペースを尊重し、ゆとりのある時間配分が出来ている。	A

食育やクッキングを通し、子どもたちと一緒に楽しく取り組むことが出来ている。

4. 保護者支援

子どもの様子を保護者と共有出来るように努めている。	A
保護者からの意見や疑問点は園長に相談し、些細なことでも丁寧に回答している。	A
保護者と話す際、正しい日本語を使い丁寧な対応を心がけている。	A

日々の会話、一年を通しての面談を行い、保護者全員と話す機会を設けた。
必要であれば何回も面談している方もいる。

5. その他

室内・屋外共に清潔が保たれるように配慮している。	A
玩具消毒、布団日光消毒等を定期的に行っている。	A
施設設備や遊具等の安全点検を定期的に行っている。	A
小学校へ向けて子ども達の期待が膨らむように連携を取っている。	A
職員の仕事や役割分担が明確であり、連携を取って円滑な園運営が出来ている。	A

現園舎も8年目に入り、設備や物品なども交換の時期に差し掛かっている。
令和6年度は予算を組みながら進めていく。